



英語授業力を高めよう！

アジア起源の言語が母語のフィンランドの大学での成功例から学ぶ

CLIL (内容言語統合型授業) ワークショップ

日時：2016年2月8, 9, 10日

場所：8日＝岡山大学中央図書館3階 セミナールームC
9日、10日＝岡山大学L-café レッスルーム

講師：Maurice Forget (Aalto University, Finland)
Heidi Jauni (Tampere University of Technology, Finland)

講演言語：英語（適宜日本語訳付き）

岡山大学では授業を英語で提供する機会が増えてきます。専門科目などを英語で教えるには、どのようにすればよいのでしょうか。また、英語の授業では、教科内容を題材にすると、教育の質が向上することが示されています。

ウラル語族のフィン語を使うフィンランドの大学でも、授業の英語化と英語教育において、同じ課題に直面し、CLIL（内容言語統合型授業）を導入することで解決してきました。

そこで、3日間にわたり、フィンランドの大学の講師によるCLILワークショップを行います。ワークショップでは実践例を示しながら、次の2つのモデルを紹介します。

1. 英語ネイティブスピーカー教員が、ノンネイティブスピーカー教員の授業支援をするモデル
2. 学科科目内容に合わせた内容の英語授業を提供するモデル

6つのワークショップのいくつでも受講できます。